



CDデビュー20周年記念

岡本知高

→ Concerto del Sopranista ←
2023-2024



ソプラニスタ「奇跡の歌声」
その声は聴くものすべてを
美しく揺さぶる・・・

公演日程 2024年

7月16日(火) 6:30p.m. 江別市民会館

7月17日(水) 6:30p.m. 北ガス文化ホール
入場料金：¥6,500(会員料金：¥5,000)[全席自由](税込) (千歳市民文化センター)

7月19日(金) 6:30p.m. カナモトホール
(札幌市民ホール)

入場料金：S席 ¥6,500 A席 ¥6,000
(会員料金：S席 ¥5,000 A席 ¥4,500)[全席指定](税込)

チケットのお求めは

チケットぴあ(セブン-イレブン) [Pコード：264-264]
【札幌】道新プレイガイド ☎0570-00-3871
【千歳】博信堂、音の博信堂
【江別】江別市民会館

お問い合わせ

MIN-ON札幌 ☎011(642)5601

札幌公演のみ

当日学生専用席 ¥2,000

当日、学生専用席(大学生以下¥2,000)を販売致します。学生証をお持ちください。他ランクの方とは同席できません。数に限りがありますので、予め、ご了承ください。



CDデビュー20周年記念

岡本知高

→ Concerto del Sopranista ←
2023-2024

「奇跡の歌声」
ソプラニスタ 岡本知高
クラシックから
日本の名曲までを披露！

1976年生まれ 高知県宿毛市出身
ソプラニスタ(男性ソプラノ歌手)

岡本の場合は変声後も強靱なドラマティック・ソプラノの音域が自然に維持され続けている世界的にも大変希有な「天性の男性ソプラノ歌手」である。国立音楽大学を卒業後、フランスのブランク音楽院を首席で修了。心の深淵に温かく響く唯一無二の歌声は「奇跡の歌声」と称され、個性的なキャラクターとコスチュームも併せてクラシック界にとどまらず各方面からの呼び声も高い。そのレパートリーは幅広く、宗教曲、オペラ、クロスオーバー、日本の唱歌やポップスと多岐にわたり、2006年より担当し続けているフジテレビフィギュアスケート中継テーマ曲「ボレロ」ではまさにその真骨頂を聴くことが出来る。また、大学時代よりライフワークとして取り組んでいる全国各地の学校訪問コンサートは年間数十公演に及び(※コロナ禍以前)子供達とのふれあい活動にも尽力している。

株式会社ホリプロ所属。

写真：山本絢子
衣装：友好まり子 / 萩野 緑
ヘアメイク：中村潤 (Shiseido)

- 2014年 『ソチオリンピック日本選手団結団式』にて国歌独唱。
- 2016年 アメリカ・ニューヨークのデビット・H・コーク・シアターにてブロードウェイミュージカル『シカゴ』宝塚歌劇 OG バージョンに出演。
- 2019年 『世界フィギュアスケート選手権 2019』にて《BoléroIV〜 New Breath 〜》を生パフォーマンス、国歌独唱。
- 2021年 『東京2020オリンピック閉会式』オリンピック賛歌独唱。
- 2022年 『東京ヤクルトスワローズ開幕戦』にて国歌独唱。
- 2023年 『世界フィギュアスケート選手権 2023』にて国歌独唱。



出演

ソプラニスタ 岡本知高 ●
 ピアニスト 飯田俊明 ●
 キーボーディスト 米田直之 ●
 パーカッショニスト 新村泰文 ●

プログラム

- 切手のないおくりもの 他
 - World in union
- ※やむを得ず曲目が変更となる場合がございます。予めご了承下さい。



飯田 俊明

Toshiaki Iida

ピアニスト

PTNA デュオ特級最優秀賞受賞。その後クラシカルクロスオーバーを軸に活動。岡本知高の他、池田直樹、柿澤勇人、田代万里生、中島啓江、平原綾香、ミネハヤ劇団四季、宝塚歌劇団、二期会などの多彩なヴォーカリストをピアノ、作編曲の両面からサポート。CD、TVの他、六本木ヒルズ時報、ゲーム、愛知万博、安藤美姫アイスショーなどに作品提供。朗読コラボも多く、山根基世、進藤晶子、松平定知らアナウンサーや、中村獅童、二木てるみらと共演。最近の活動はホリプロ60周年オールスターミュージカルCD、伍代夏子歌謡劇音楽、NHKドキュメンタリー「沁みる夜汽車」、NHKドラマ「生きてふたたび」音楽など。

【Website】 <http://toshiaki-iida.com/>



米田 直之

Naoyuki Yoneda

キーボーディスト

高校在学中よりジャズ理論を学び、大学卒業後、ロンドンへ音楽留学。1999年、笹路正徳にデモテープを認められ、師事。サウンドプロデューサー / キーボーディストとして、ジャズ、カントリー、ロック、フォーク、民族音楽、オペラ、アイドル、EDM、R&B、演歌など幅広い音楽性を発揮。アレンジ、バンドサポート、音楽監督などで多岐に渡るアーティストと一緒に楽曲やステージを作り上げている。映像音楽制作においては、ジャズ / ラテン / ミニマルをベースとしたスタイリッシュな音像が特徴的。多種多様な多彩なプレイヤー陣との交流も深く、ジャンルレスな制作スタイルで活動。

【Website】 <https://linktr.ee/naoyukiyoneda>



新村 泰文

Hirofumi Shinmura

パーカッショニスト

1977年北海道出身。和太鼓奏者の父に太鼓を学び、クラシックを通じ西洋打楽器を習得。ドラムを猪俣猛に師事。多種多様な打楽器を駆使したジャンルレスな演奏で、池田綾子、石井竜也、遠藤響子、岡本知高、島田歌穂、田代万里生、冬野ユミ、濱田めぐみ、林部智史、平原綾香、藤澤ノリマサ、村井秀清、渡辺美里、など、アルバムレコーディング、ツアー、ライブ、コンサート映像作品に参加している。『Neighborhoods』メンバー。2022年1stアルバム『esperanto』をリリース。

【Website】 <http://shinmura-drums.com/>